

(仮称)神戸元町PJ 新築工事

計画の概要

1. 景観影響建築行為予定者の氏名及び住所

タット・プラン&T株式会社 代表取締役 六車 勉
大阪市西区江戸堀1丁目25番30号

2. 設計者の氏名及び住所

一級建築士事務所タット・プラン&T株式会社 六車 勉
大阪市西区江戸堀1丁目25番30号

3. 計画名称

(仮称)神戸元町PJ 新築工事

4. 景観影響建築行為の概要

- | | |
|------------|-----------------|
| (1) 所在及び地番 | 中央区元町通7丁目2番地の22 |
| (2) 敷地面積 | 約 131 平方メートル |
| (3) 建築面積 | 約 97 平方メートル |
| (4) 延べ面積 | 約 1,300 平方メートル |
| (5) 高さ | 約 44.4 メートル |
| (6) 構造 | RC造 |
| (7) 階数 | 地上15階 |
| (8) 建物用途 | 共同住宅 |



完成予想図

協議の経過及び内容（計画段階）

1. 計画段階デザイン協議の申出年月日

令和4年5月25日

2. 景観アドバイザー専門部会の開催年月日

令和4年6月27日

3. 良好な景観の形成に関する評価を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和4年6月28日

- ・建物デザインについて、低層部の立面のバランスを調整し、圧迫感を軽減させるよう検討してください。
また、外壁は周辺の建物に馴染む色彩を基調に、バルコニー等のアクセントとなる色彩はコントラストがきつくないよう検討してください。
- ・外構計画について、道路側のバイク置き場や1階平面計画の調整等により、エントランスの両側に植栽を配置し、豊かな沿道景観を形成するよう検討してください。
- ・照明計画について、1階建物奥の照明を外部からの見え方に配慮して計画するとともに、植栽へのライトアップを行う等、電球色の温もりのある夜間景観を形成するよう検討してください。

4. 神戸市長からの評価に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和4年7月6日

- ・指摘を受け、建物内部と接道部を連続させたデザインを保ちながら、2階バルコニーのボリューム感を3～4階と同程度になるよう調整致しました。
また、外壁はコンセプトを崩さず、周囲の建物となるべく馴染む色調のタイルを再度選択するとともに、高層部ではバルコニーの袖壁と外壁のコントラストを抑え強調しすぎないように調整致しました。
- ・ポンプ室を階段下に配置することで原付1台を建物内に収容し、両側に植栽を配置致しました。
- ・2階バルコニー下部に間接照明を設置し、アップライトで植栽を照らすことで軽やかさを演出、また、建物内部にはグレアレスダウンライトを、奥にはブラックミラーを設置することで、アプローチが奥まで伸びていくような演出を致しました。

協議の経過及び内容（設計段階）

1. 設計段階デザイン協議の申出年月日

令和4年7月19日

2. 設計段階デザイン協議の申出があった旨の公告年月日

令和4年7月27日

3. 設計段階デザイン協議の申出に係る書面等の縦覧期間及び場所

令和4年7月27日から同年8月9日まで

神戸市都市局景観政策課窓口

4. 景観アドバイザー専門部会の開催日時

令和4年8月22日

5. 良好な景観の形成に関する評価を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和4年8月24日

- ・建物デザインについて、エントランスを中心に、外構計画や平面計画を調整し、より豊かな沿道景観を形成するよう検討してください。
- また、バルコニー周りは、室外機等の外部からの見え方に配慮してください。
- ・照明計画について、演出効果にあった照明器具・手法を選択するなど、より魅力ある夜間景観を形成するよう検討してください。

6. 神戸市長からの評価に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和4年9月2日

- ・一階プランを調整し、屋外に設置してあった原動機付自転車置き場を建物内に収め、緑地部分を増やしました。
- バルコニーのガラス手摺は、屋外設備が見えないよう不透明なものを採用します。
- ・沿道部の照明計画は専門部会で説明した、バルコニー下部の間接照明と、植栽へのアップライトによる演出を行い、アプローチ部分には、突き当りのブラックミラーとグレアレスのダウンライトによる演出はそのままに、左右の壁をウォッシャーライトで照らし、明るい空間を演出します。

7. 協議の成立年月日

令和4年9月6日